

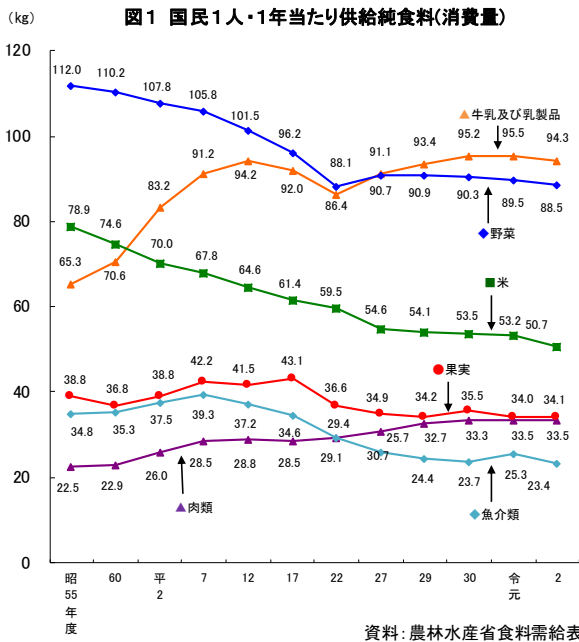
(20) 食料消費

～外食費の支出はコロナ禍により減少～

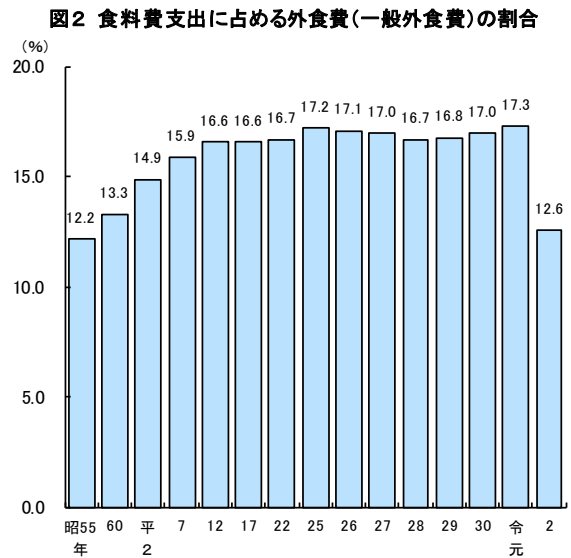
国民の1人1年当たり供給純食料の近年の動きをみると、米、野菜、果実、魚介類は減少傾向、牛乳及び乳製品、肉類は近年微増傾向で推移している（図1）。

食料費支出に占める外食費の支出割合では、堅調に伸びてきた外食費が平成12年以降横ばい傾向にあったが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により外食を控える動きがあったことから大幅に減少した（図2）。外食を除く食料費の支出構成をみると、加工食品への支出割合が最も多く、67%となっている（図3）。

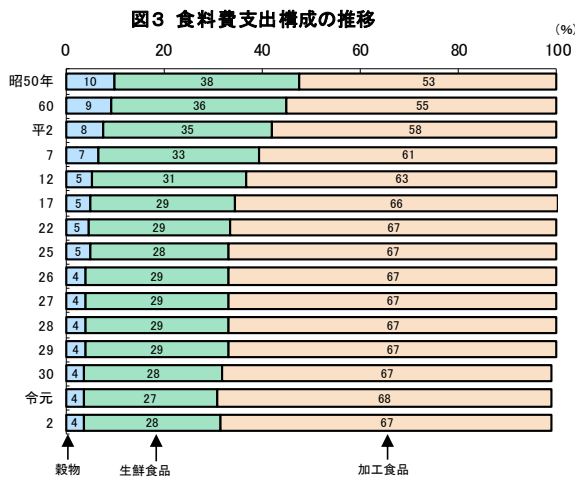
また、主な加工食品支出の伸び率は、果物加工品、乳製品が大幅に増加し、各種惣菜などの副食的なものを含む調理食品、他の飲料、菓子類、加工肉も増加している一方、大豆加工品、野菜・海藻加工品は減少している（図4）。



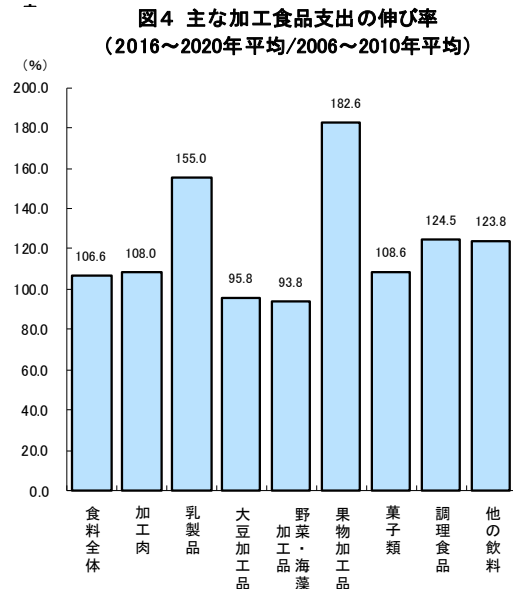
注) 令和2年度は概算値



資料：総務省家計調査年報(2人以上の世帯)



資料：総務省家計調査年報(2人以上の世帯)



注) 他の飲料は、茶類、コーヒー、ココア、酒類を除いたもの

資料：総務省家計調査年報(2人以上の世帯)

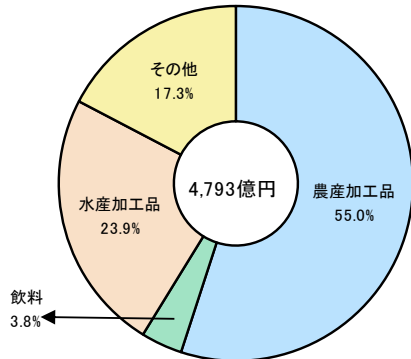
(21) 食品加工

～食料品・飲料等製造業出荷額のうち農産加工品が55.0%のシェア～

平成28年の食料品・飲料等製造業の出荷額は前年度より5.5%増加し、4,793億円となり、そのうち農産加工品の割合は50%以上を占めている(図1)。

また、平成27年産業連関表でみると、本県の食品製造業は、原材料の40.4%を農林業から、15.3%を漁業から購入する安定的な需要者であり、その移輸出額は県内全産業が県外への移輸出する総額の11.6%を占め、農林水産業(10.3%)と並び、県内では重要な産業となっている(図2)。

図1 食料品・飲料等製造業の加工品別出荷額
(平成28年)

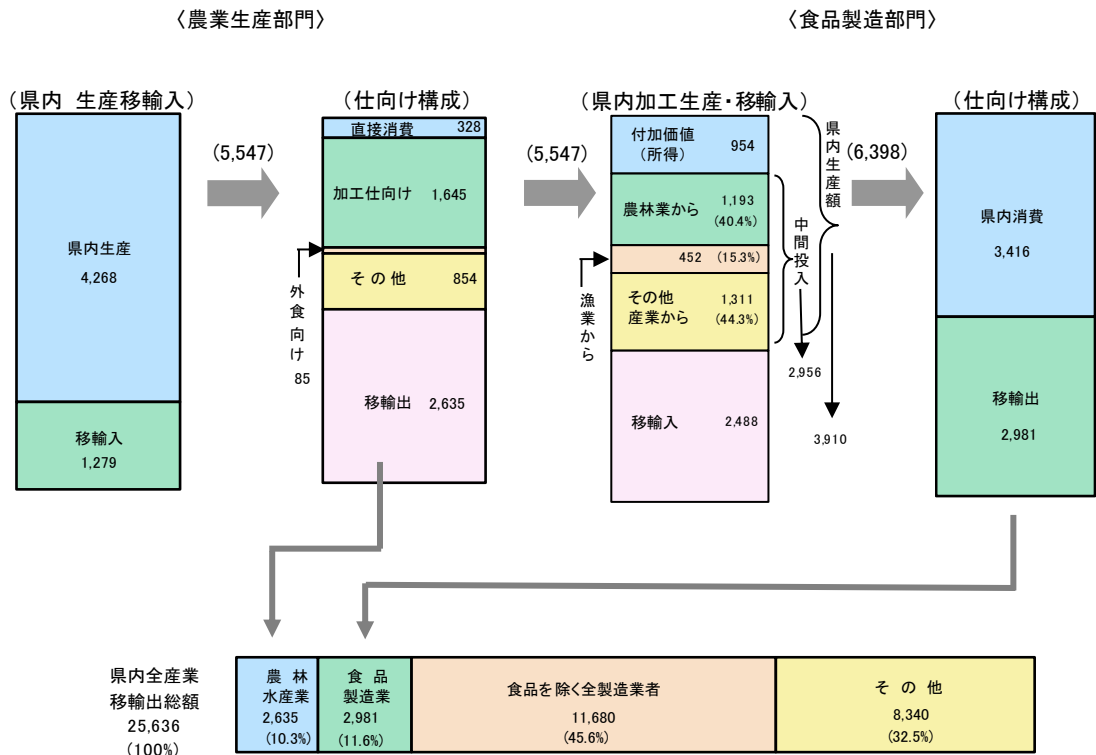


注) 経済センサスは平成28年が最新

資料: 経済センサス活動調査、青森県の工業 (従業員4人以上の事務所)

図2 農林水産業と食品製造業との連携による付加価値向上(平成27年青森県産業連関表より)

(単位: 億円)



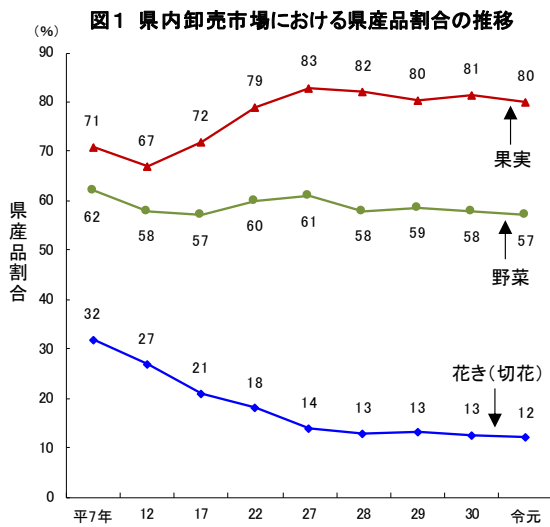
注) 青森県産業連関表は平成27年が最新

(22) 地 場 流 通

～県産品の割合は果実と野菜が横ばい傾向～

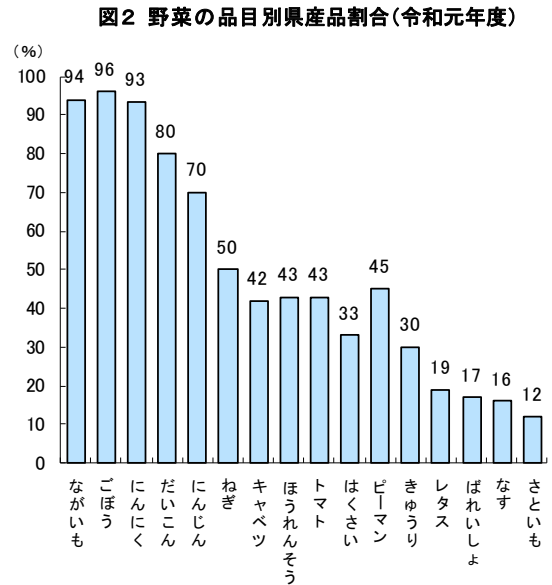
本県の青果・花き卸売市場における県産品の入荷割合は、果実が80%、野菜が57%、花き（切花）が12%となっており、果実、野菜は横ばい、花き（切花）は減少傾向にある（図1）。

品目別の県産品割合は、野菜では根菜類が高く、特にながいも、ごぼう、にんにくはほとんどが県産品となっており、葉菜類の一部やトマト、ピーマン等の果菜類では5割以下となっている（図2）。果実では、りんごが99%、西洋なしが88%、ぶどうが86%、おうとうが83%、メロンが78%などとなっている（図3）。花き（青森市中央卸売市場）では、観葉植物が75%、花木・庭木が67%、苗物が60%、鉢物が55%、切花が12%となっている（図4）。

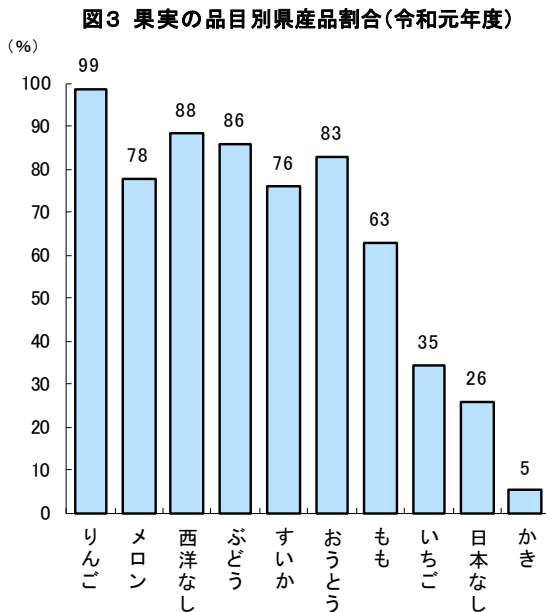


注) 調査対象は野菜、果実が県内7卸売市場

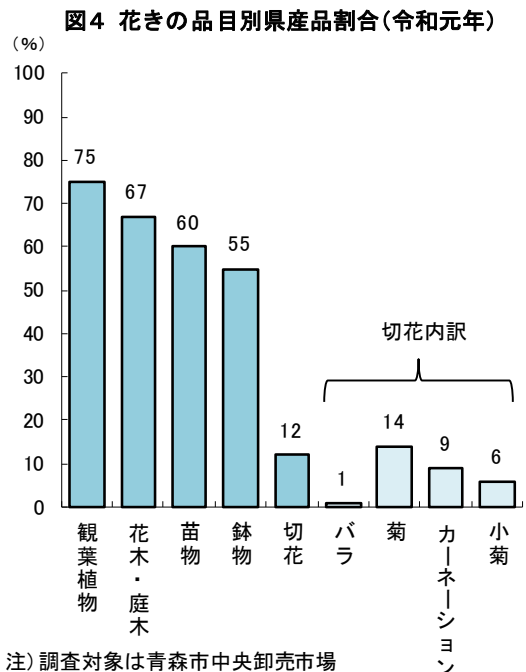
資料: 県総合販売戦略課(以下同じ)



注) 調査対象は県内7卸売市場



注) 調査対象は県内7卸売市場



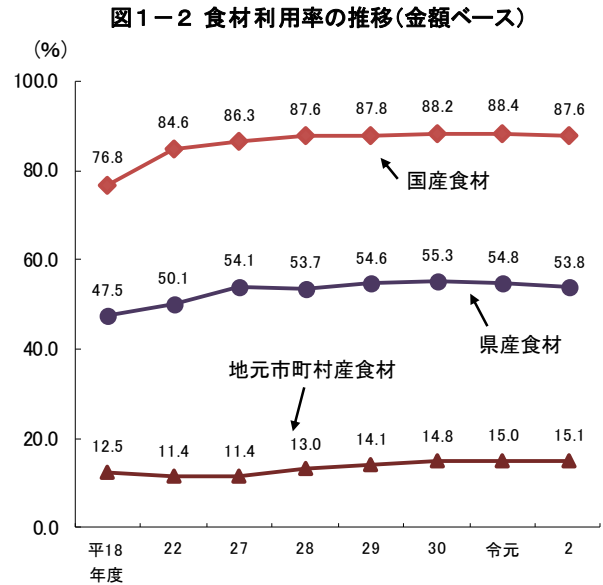
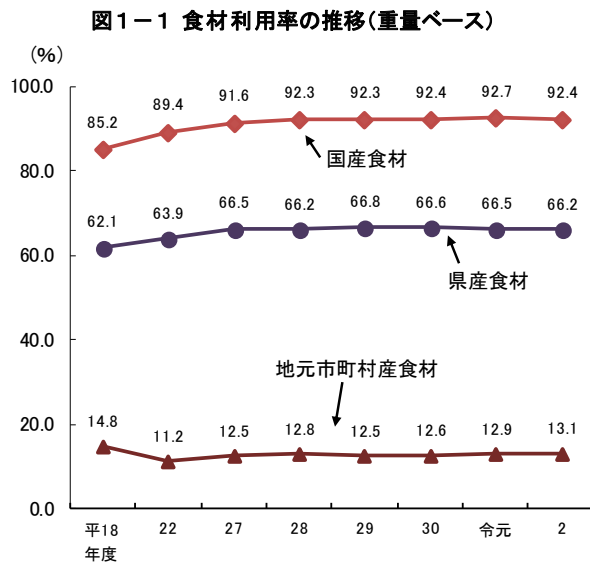
注) 調査対象は青森市中央卸売市場

(23) 学 校 給 食

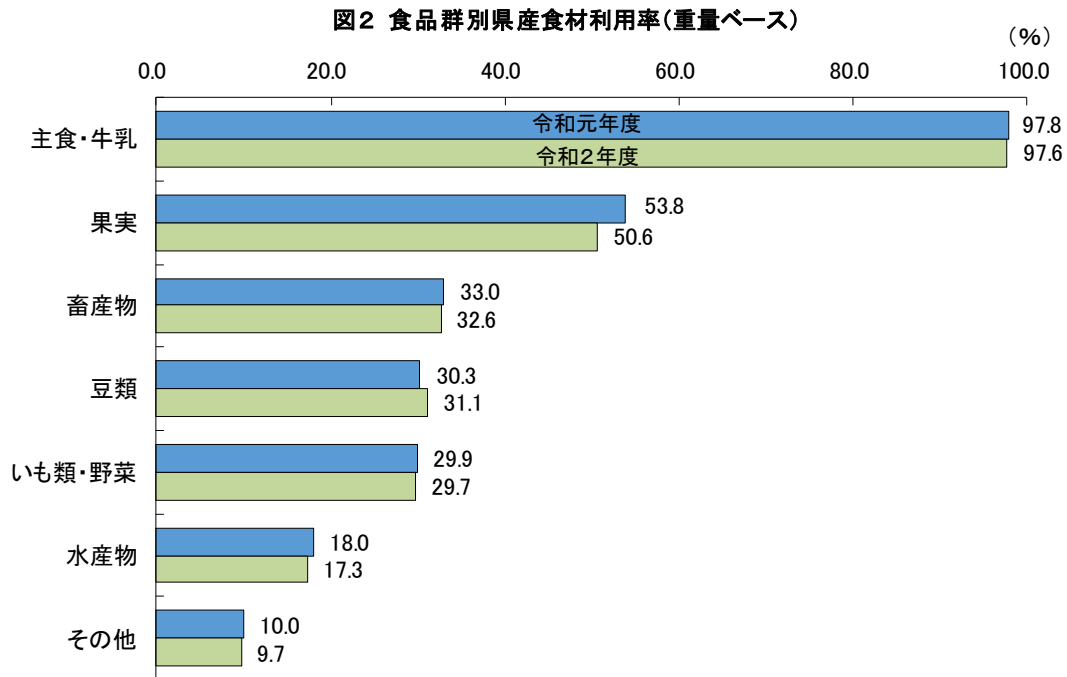
～県産食材の利用率は横ばい傾向～

県産食材利用率については、令和2年度は重量ベースで66.2%、金額ベースで53.8%となり、横ばい傾向にある(図1)。

食品群別の県産食材利用率(重量ベース)については、主食・牛乳が97.6%と最も高かったものの、前年度から0.2ポイント減少した。次いで果実が50.6%で前年度から3.2ポイント減少した。畜産物は32.6%(前年度から0.4ポイント減)、豆類は31.1%(前年度から0.8ポイント増)、いも類・野菜は29.7%(前年度から0.2ポイント減)、水産物は17.3%(前年度から0.7ポイント減)となった(図2)



資料：県総合販売戦略課(以下同じ)



(24) 農林水産品の輸出

～令和元年の輸出額は約324億円で前年に比べ減少～

令和元年の県産農林水産品の輸出額は約324億円となり、前年に比べ約5%減少したものの、近年は増加傾向で推移している（図1-1、図1-2、図2）。

また、令和元年産りんごの輸出量（全国値）は、主力の台湾向けを中心に関係団体が一体となってプロモーション活動を展開した結果、3万1,772tと過去4番目の数量となっている。（図3）。

図1-1 県産農水産品輸出額の品目別割合(平成30年)

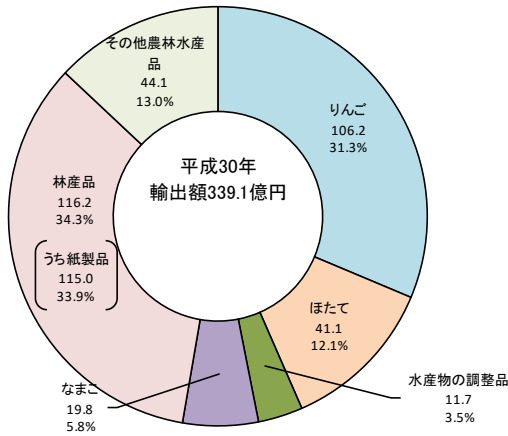
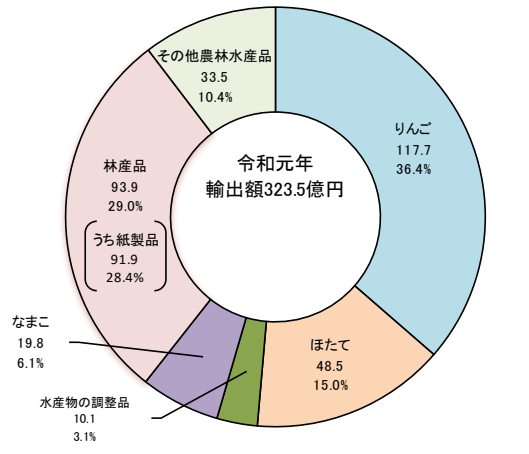
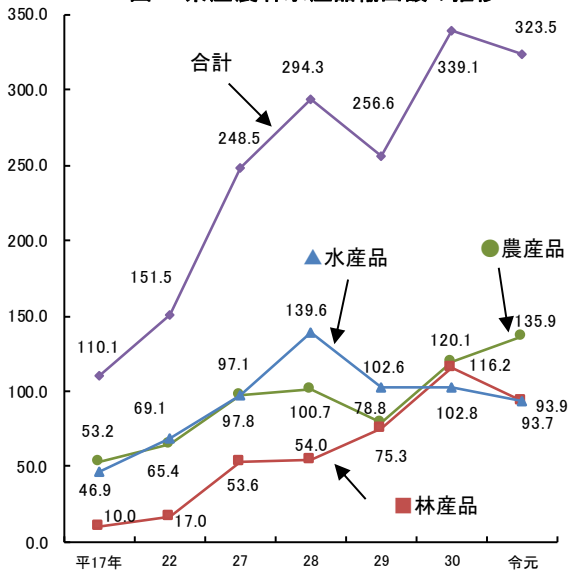


図1-2 県産農水産品輸出額の品目別割合(令和元年)



注) 年は1月から12月まで。 資料: JETRO青森「青森県の貿易」

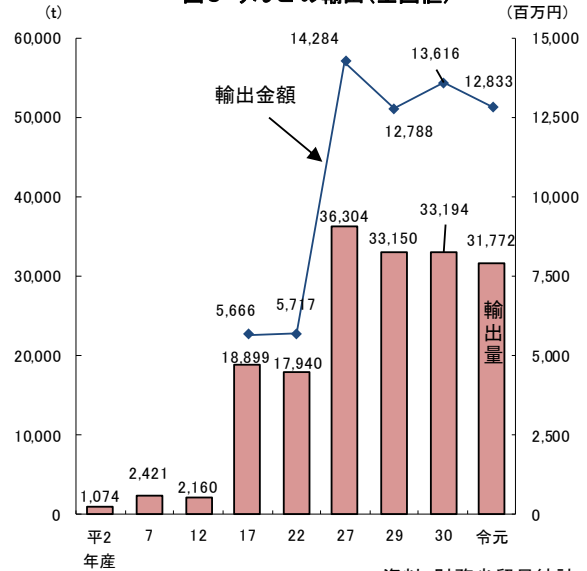
図2 県産農林水産品輸出額の推移



注) 1 年は1月から12月まで
注) 2 林産品は紙製品を含む

資料: JETRO「青森県の貿易」

図3 りんごの輸出(全国値)



資料: 財務省貿易統計
注) 1 年産は9月から翌年8月まで
2 平成2・7年産は、輸出検査実績から集計した青森県産の輸出量
3 平成12年産は、日本貿易月表の97%を青森県産として推計